



〈雑録〉補正積數ニ依ル計算

原口, 亮平

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 9(1):101*-113

(Issue Date)

1910-07

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051597>



補正積數ニ依ル計算

原口亮平

補正積數ヲ記述スルニ先チ、之ト密接ナル關係ヲ有スル日數計算法ニ就テ述ブル所アルベシ日數計算法ハ之ヲ左ノ三種ニ區別スルコトヲ得。

(一) 期間ノ初日ヨリ起算シテ滿期日ニ終ルモノ、之ヲ兩端入計算法トイフ。

(二) 期間ノ初日若クハ滿期日ノ一方ヲ算入セザルモノ、之ヲ片落シ計算法トイフ。而シテ本計算法ハ更ニ之ヲ左ノ二種ニ細別ス。

(甲) 期間ノ初日ノ翌日ヲ以テ起算日トナシ滿期日ニ終ルモノ。

(乙) 期間ノ初日ヲ以テ起算日トナシ、滿期日ノ前日ニ終ルモノ。

(三) 期間ノ初日ノ翌日ヨリ起算シテ、滿期日

ノ前日ニ終ルモノ、之ヲ兩落シ計算法トイフ。

民法ノ規定スル所ハ(二)(甲)ニシテ、本邦一般ノ慣習モ亦之ニ依ルモノ多シ。但商業計算ニ於テハ其以外ノ計算法ヲ採用スルモノ少カラズ利息、割引料、倉敷料、及日歩計算ニ依ル火災保險料ノ如キ其適例ナリトス。

積數ヲ以テ利息、割引料等ヲ計算スルニ當リ其日數ガ片落シ計算法ナルモノハ、計算甚簡單ナリト雖ドモ、其日數ガ他ノ計算法ナルモノハ計算頗ル複雑スルコトアリ、蓋後ノ場合ニ於テハ、其取引ノ性質ヲ考察シ、日數計算ニ各種ノ計算法ヲ複用スルヲ以テ、計算ニ細密ナル注意ヲ要スルモノアレハ也。今其計算ヲ簡單ニセンガ爲、日數計算ハ總テ片落シ計算法ニ依リ、之ヨリ生ズル誤差ハ其積數ニ於テ別計算ヲ以テ作リタル積數ヲ以テ、之ヲ補正スルコトアリ。此積數ヲ補正積數ト名ヅク。以下例ヲ以テ其計算法ヲ述ベントス。

(其一) 通常ノ計算法

月日	摘要	借方 (拂戻)	貸方 (預入)	残高	日數	積數	日數計 日法ノ說	算明
9 14			150	150	6	900	9/15—9/20	
〃 20			200	350	5	1,750	9/21—9/25	
〃 26	100	100		250	25	6,250	9/26—10/20	
10 20			125	375	6	2,250	10/21—10/26	
〃 27	150	150		225	2	450	10/27—10/28	
〃 29	70	70		155	8	1,240	10/29—11/5	
11 5			360	515	2	1,030	11/ 6—11/7	
〃 7			200	715	5	3,575	11/ 8—11/12	
〃 13	400	400		315	3	945	11/13—11/15	
〃 15	繰越	315		0	62	18,390		
		1,035	1,035			@ ¥01 = ¥183		
11 16	繰越		315					
〃 〃	利息		183	316.83				

第一例 小口當座預金利息計算例

利息計算法。預入ノ翌日ヨリ拂戻ノ前日マテ(即兩落シ計算法)日歩一錢ノ割合ニテ利息ヲ附スルモノ(決算日十一月十五日)。

(其二) 補正積數ニ依ル計算法

第九卷 (一〇三) 雜錄 補正積數ニ依ル計算

月	日	摘要	借方 (拂)	貸方 (入)	残高	日數	積數	補正 積數
9	14			150	150	6	900	
"	20			200	350	6	2,100	
"	26		100		250	24	6,000	100
10	20			125	370	7	2,625	
"	27		150		225	2	450	150
"	29		70		155	7	1,085	70
11	5			360	515	2	1,030	
"	7			200	715	6	4,290	
"	13		400		315	2	630	400
			720	1,035		62	19,110	720
"	15	繰越	315		0		720	
			1,035	1,035			18,390	
11	16	繰越		315			@ ¥11 = ¥183	
"	"	繰利		1	83	316	83	

右ノ計算ニ於テ日數ハ總テ片落シ計算法ヲ用フ。又補正積數ハ拂戻金額ニ一日ヲ乗ジタル積數ニシテ、拂戻アル毎ニ作リ置キ、決算ノ際其合計數ヲ積數合計數ヨリ減ズルモノトス、但實際ノ計算ニ於テハ特ニ此欄ヲ設ケテ積數ヲ作ルノ要ナシ、何トナレバ此記入ハ、恒ニ借方金額ノ記入ニ等シキヲ以テ、補正積數ハ借方金額欄ヨリ之ヲ得ベケレバ也。

又其算法ノ理由ヲ簡單ニ述ベンニ、日數ヲ片落シ計算法ニテ計算スルトキハ、利息ハ預入ノ翌日ヨリ拂戻ノ當日マデ之ヲ附シタルモノトナルベシ。而シテ之ヨリ拂戻金ニ對スル拂戻當日ノ利息ヲ減ズルトキハ、利息ハ恰モ預入ノ翌日ヨリ拂戻ノ前日マデ之ヲ附シタルコト、ナリ、本題ノ條件ニ適合ス、補正積數ハ此減ズベキ利息ヲ別途ニ計算シタルモノ也。

第二例 當座勘定貸越利息計算例。

利息計算法、貸出ノ當日ヨリ返金ノ當日マデ(即兩端入計算法)日歩二錢五厘ノ割合ニテ利息ヲ附スルモノ
(決算日五月三十一日)。

(其一) 通常ノ計算法

月 日	摘要	借 方 (貸出)	貸 方 (返金)	残 高	日 数	積 数	日数計算法 ノ 説 明
4 15		5.000		5.000	6	30.000	4/15—4/20
" 20			1.500	3.500	2	7.000	4/21—4/22
" 23		3.000		6.500	7	45.500	4/23—4/29
" 29			2.000	4.500	9	40.500	4/30—5/8
5 8			1.000	3.500	3	10.500	5/9—5/11
" 12		2.500		6.000	5	30.000	5/12—5/16
" 17		1.600		7.600	10	76.000	5/17—5/26
" 26			4.000	3.600	2	7.200	5/27—5/28
" 28			1.200	2.400	3	7.200	5/29—5/31
" 31	繰越		2.400	0	47	253.900	
		12.100	12.100			@Y ⁰²⁵ = ¥6347	
6 1	繰越	2.400					
" "	利息	63.47		2.463.47			

第九卷 (一〇四) 雜 録 補正積數ニ依ル計算

(其二) 補正積數ニ依ル計算法

月 日	摘要	借 方 (拂貸出)	貸 方 (返金)	残 高	日 数	積 数	補 正 積 数
4 15		5.000		5.000	5	25.000	5.000
" 20			1.500	3.500	3	10.500	
" 23		3.000		6.500	6	39.000	3.000
" 29			2.000	4.500	9	40.500	
5 8			1.000	3.500	4	14.000	
" 12		2.500		6.000	5	30.000	2.500
" 17		1.600		7.600	9	68.400	1.600
" 26			4.000	3.600	2	7.200	
" 28			1.200	2.400	3	7.200	
" 31	繰越	(3) 12.100	9.700		46	241.800	(1) 12.100
			2.400	0	(2)	12.100	
		12.100	12.100			253.900	
						@Y ⁰²⁵ = ¥6347	
6 1	繰越	2.400					
" "	利息	63.47		2.463.47			

第一號 一〇四

此計算ニ於テモ日數ハ總テ片落シ計算法ヲ用
フ。又補正積數ハ貸出金額ニ一日ヲ乗ジタル積
數ニシテ、貸出アル毎ニ之ヲ作り、決算ノ際其
合計數ヲ積數ノ合計數ニ加算スルナリ。但此合
計數(1)ハ恒ニ貸出金合計額(3)ニ等シキニヨ
リ、實際ノ場合ニハ補正積數欄ヲ省キ(3)ノ金
額ヲ以テ、直ニ補正積數(2)トスルモノトス。
此算法ノ理由モ亦第一例ニ於ケルモノニ準ス
ベシ。即片落シ計算法ニ依リテ日數ヲ計算スル
トキハ、利息ハ貸出ノ翌日ヨリ返金ノ當日マデ
附セラル、コト、ナリ、之ニ貸出金ニ對スル貸
出當日ノ利息ヲ加フレバ、利息ハ恰モ貸出ノ當
日ヨリ返金ノ當日マデ、附セラル、コト、ナリ
テ、所要ノ條件ニ適合ス。補正積數ハ此貸出金
ニ對スル貸出當日ノ利息ヲ計算セルモノ也。

第三例 當座勘定利息計算例。

利息計算法、預金ニハ預入ノ翌日ヨリ拂戻ノ當日マデ
(即片落シ計算法)、當座越ニハ貸出ノ當日ヨリ返金ノ
當日マデ(即兩端入計算法)利息ヲ附スルモノ(決算
日二月二十八日利率日歩預金五厘、貸越二錢五厘)、

補正積數ニ依ル計算法

月日	摘要	借方		貸方	借入 貸出	差引 殘高	日數	積		補正積數
		借	方	貸				借	方	
1 5				5,000	貸	5,000	2		10,000	
7				3,000	貸	8,000	3		24,000	
10		4,000			//	4,000	5		20,000	
15				2,200	//	6,200	3		18,600	
18		6,400			(1)	200	5	1,000		(1) 200
23				2,400	借	2,200	2			
25		3,500			(2)	1,300	4	5,200	4,400	(2) 1,300
29		(3) 2,800			借	4,100	7	28,700		(3) 2,800
2				2,000	//	2,100	3	6,300		
8		(4) 1,500			//	3,600	8	28,800		(4) 1,500
16				4,500	貸	900	2		1,800	
18				1,300	//	2,200	3		6,600	
21		5,000			(5)	2,800	2	5,600		(5) 2,800
23				800	借	2,000	2	4,000		
25				3,200	//	1,200	3		3,600	
28	繰越	1,200			貸	0	54	79,600	89,000	8,600
		24,400		24,400				8,600		
3 1	繰越			1,200				88,200		
1	利息	22 50		4 45	貸	1,182 40		@ ¥ 0.025 = ¥ 22.05	@ ¥ 0.005 = ¥ 4.45	

註 借方貸方ノ意義ハ前諸計算書ニ同シ、

此計算法ハ本邦ニ於テ多數ノ銀行ガ採用スルモノナリトス。其貸方即預金利息ハ、日數ハ片落シ計算法ニ依ルモノナレバ之ガ補正ヲ要セズ其借方即當座貸利息ハ其算法第二例ト相等シ。但此場合ニ於ケル借方金額欄ノ記入ハ、預金ノ拂戻ト當座貸ノ貸出トヲ混合セルニ依リ、其合計數ヨリ補正積數ヲ得ル如キ便宜ナシトス。本計算ニ於ケル補正積數ハ若干ノ貸出アルトキニ、其當日ニ於テ貸出金ニ、一日ヲ乘ジテ作リタルモノ也。詳言スレバ、前回取引ノ殘高ガ貸金ナル場合ニ若干ノ貸出アルトキハ其金高ヲ

以テ補正積數トナシ、又前回取引ノ殘高ガ預金ナル場合ニ若干ノ拂出アリテ其結果貸金トナルトキハ、其貸金高ヲ以テ補正積數トナス也。故ニ補正積數ノ就テ計算セラル、金額ハ借方金額欄若クハ差引殘高欄ノ金額ナリ。前掲計算書ニ於テ細書セル數字ハ其ノ補正積數ノ出所ヲ示セルモノナリ。

第四例 當座勘定利息計算例。

利息計算法、預金ニハ預入ノ翌日ヨリ引出ノ前日マデ(即兩落シ計算法)、當座貸ニハ貸出ノ當日ヨリ返金ノ當日マデ(即兩端入計算法)、利息ヲ附スルモノ(決算日及利率前例ニ同シ)。

補正積數	
借方	貸方
	(1) 4.000
	(2) 6.200
200	(3) 2.200
1.300	
2.800	
1.500	
	(4) 2.200
2.800	
8.600	(5) 14.600

補正積數ニ依ル計算法

月	日	摘要	借方		貸方	借又貸	差引殘高		日數	積數	
										借方	貸方
1	15				5,000	貸	5,000	—	2		10,000
"	17				3,000	"	8,000	—	3		24,000
"	10	(1)	4,000	—		"	4,000	—	5		20,000
"	15				2,200	"	(2) 6,200	—	3		18,600
"	18		6,400	—		借	200	—	5	1,000	
"	23				2,400	(3) 貸	2,200	—	2		4,400
"	25		3,500	—		借	1,300	—	4	5,200	
"	29		2,800	—		"	4,100	—	7	28,700	
2	5				2,000	"	2,100	—	3	6,300	
"	8		1,500	—		"	3,600	—	8	28,800	
"	16				4,500	(4) 貸	900	—	2		1,800
"	18				1,300	"	(4) 2,200	—	3		6,600
"	21		5,000	—		借	2,800	—	2	5,600	
"	23				800	"	2,000	—	2	4,000	
"	25				3,200	貸	1,200	—	3		3,600
"	28	繰越	1,200	—			0	—	54	79,600	89,000
			24,400	—	24,400	—				8,600	(5) 14,600
3	1	繰越			1,200	—				88,200	74,400
"	"	利息	22	05	3	72	貸	1,181	67	@ ¥ 025 = ¥ 2205	@ ¥ 005 = ¥ 372

本計算ハ第一例及第二例ヲ合セタルモノト看做スベシ、而シテ其算法ハ第三例ヨリ容易ニ推究シ得ベキニ依リ、其説明ヲ略ス。

以上述ブル所ハ取引ノ數一日二回以上ナルモノニハ適用スルコト能ハザル場合アリ、今其一例ヲ示スベシ。

第五例 小口當座預金利息計算例。

利子計算法、第一例ニ同シ、但決算日チ一月十日トス。

補正積數ニ依ル計算法

月 日	摘要	借方 (拂戻)	貸方 (預入)	残高	日數	積數
1				300	1	50
5		250	300	50	1	30
6			700	750	1	150
7		720		30	1	600
8			120	150	2	880
10	繰越	100	250	50	3	1,070
				300		240
		1,370	1,370	0		

即此場合ニハ利子ハ負數トナル。コレ大ナル矛盾ナラズヤ。左ニ之ヲ訂正スル方法ニ就テ研究スベシ。

先ヅ預金ニ就テ觀察セシニ一日ニ二回以上取引アル場合ハ、之ヲ次ノ如ク細別スルヲ得ベシ

(一) 預入ノミ二回以上アル場合、

(二) 拂戻ノミ二回以上アル場合、

(三) 先ヅ拂戻アリテ後預入アル場合、

(四) 先ヅ預入アリテ後拂戻アル場合、

(五) 預入及拂戻共ニ數回アル場合、

(一)及(二)ノ場合ハ其合計額ヲ一時ニ預入レ若クハ拂戻シタルト同一ノ結果生ズルモノナレバ、一日唯一回ノ取引ヲ行ヒタルモノニ異ラズ。

(三)ノ場合ニハ拂戻金ハ前日繰越金ヨリ、拂戻サルベキニヨリ其拂戻金ハ繰越金ヨリ小ナルヲ要ス。(四)ノ場合ニ於テハ其拂出金充當ノ順位

ニ就テ左ノ二法ノ何レヲ採用スルモノナルカ先ヅ之ヲ確定スルノ要アリ。

(甲) 前日繰越金ヲ以テ第一順位ノ拂戻資
金トシ、本日預入金ヲ以テ第二順位ノ拂
戻資金トスルモノ。

(乙) 本日預入金ヲ以テ第一順位ノ拂戻資
金トシ、前日繰越金ヲ以テ第二順位ノ拂
戻資金トスルモノ。

而シテ(甲)法ニ依ルトキハ拂戻金ハ先ヅ前日
繰越金ニテ拂出サル、ニ由リ、預入ハ拂戻ニ先
ツモ、又之ヨリ後ル、モ、結果ハ同一ナルベ
シ。隨テ(イ)其拂戻金高前日繰越高ヨリ小ナル
場合ニハ(三)ノ場合ニ同ジク、又(ロ)其拂戻金
高前日繰越金高ヨリ大ナル場合ニハ其差引殘高
ハ本日預金ノ一部分ナリトス。

(乙)法ニ依ルトキハ、(イ)拂戻高預金高ヨリ
小ナル場合ニハ其差額ヲ預入レ、又(ハ)拂戻高
預金高ヨリ大ナル場合ニハ其差額ヲ拂戻シタル
ト同一ナリ。

(甲)(乙)二法ノ相異ル點ハ其差引殘高ガ利息

ヲ生ム力ノ相違ニ在リ、即前日繰越金ハ本日ニ
於テハ生利元金ナルモ、本日ノ預金ハ本日ニ於
テハ不生利元金ナリ、依テ其差引殘高カ前日繰
越金ナルカ、又ハ本日預金ナルカニヨリテ利息
高ニ相違ヲ生ズベシ。例令第五例一月六日ノ取
引ニ於テ、甲法ニヨルトキハ、拂出金七百二十
圓ハ先ヅ前日繰越高五十圓ヨリ拂出サレ、殘高
六百七十圓ハ同日ノ預金七百圓中ヨリ拂出サル
ルニヨリ、同日殘高三十圓ハ預金ニ屬シ、隨テ
之ニ對シ其日ハ利息ヲ生ゼズ。又乙法ニヨルト
キハ、拂出金七百二十圓ハ先ヅ同日ノ預金七百
圓ヨリ拂出サレ、其殘高二十圓ハ前日繰越金五
十圓中ヨリ拂出サル、ニヨリ、同日殘高三十圓
ハ前日繰越金ニ屬シ、隨テ之ニ對シ其日ハ利息
ヲ生ズル也。

(五)ノ場合ハ前說四ツノ場合ノ重複シタルモ
ノト看做スベシ。

既ニ述ベタル補正積數ニヨル利息計算法ハ

(一)(二)(三)及(四)ノ(甲)法(イ)ノ各場合ニ其儘之ヲ適用シ得ベシ(四)ノ(甲)法(ロ)ノ場合ニハ左ノ修正ヲ要ス。

本日拂戻高カ前日繰越高ヨリ大ナル場合ニハ、二者ノ差引高ニ對シテ一日ヲ乘ジタル積數ヲ作り、追加積數トシテ之ヲ本積數ニ加フベシ。

第五例ヲ本法ニヨリテ計算スレバ左ノ如シ。

第六例

月日	摘要	借方 (拂戻)	貸方 (預入)	殘高	日數	積數
1	5	250	300	300	1	(1) 250
"	"			50		50
"	6	700	700	750	1	(2) 670
"	7	720		30		30
"	8	100	120	150	1	150
"	"			50		
"	"		250	300	2	600
"	10	1,070	1,370		5	1,750
"	繰越	300		0		1,070
"	繰越	1,370	1,370			650
1	11		300	300		(2) ¥001 ¥96
"	利息		06	300 06		

(解)「追」ト附記セルモノハ追加積數ニシテ、其計算法左ノ如シ。

(1) 250(一月五日拂戻高) - 0(一月五日ニ於ケル前日繰越高) = 250

(2) 720(一月六日拂戻高) - 50(一月六日ニ於ケル前日繰越高) = 670

元來補正積數ニ依ル利息計算法ハ其拂戻金ニ就テハ其拂戻當日ノ利子ヲ減ズルヲ以テ原則トセリ、然レドモ拂戻資金ガ其日ノ預金ナル場合ニ於テハ之ヲ減ズル能ハザルモノナリトス、何トナレバ此預金ニハ利息ヲ生ゼザルモノナルニ之ヨリ拂出サル、拂戻金ニハ之ト共ニ利息ヲ減ズルハ、與ヘズシテ取ルト同ジク、不當ノ結果ヲ來セバ也。故ニ拂戻金中其日ノ預金ヨリ拂出サル、部分即拂戻金ト前日繰越金トノ差額ニ對シテハ追加積數ヲ補フ必要ヲ生ズル也。

又(四)ノ(乙)法ノ場合ニハ左ノ修正ヲ要ス。

本日拂戻高ト本日預入高トヲ比較シ、其小ナル金額ニ付一日ヲ乘ジタル積數ヲ作り、追加積數トシテ本積數ニ加フベシ。

第五例ヲ本法ニヨリテ計算スレバ左ノ如シ。

第七例

月	日	摘要	借方	貸方	残高	日数	積数
1	5			300-	300-	1	(1) 250
"	"		250-		50-		
"	6			700-	750-	1	(2) 700
"	"		720-		30-		30
"	7			120-	150-	1	150
"	8		100-		50-		
"	"			250-	300-	2	600
"	10	繰越	1,070-	1,370-		5	1,780
"	"		300-		0		1,070
"	"		1,370-	1,370-			710
"	11	繰越		300-			② Y ₀₁ = Y ₀₇
"	"	利息		300.07	300.07		

(解) 追加積數(1)一月五日ニ於ケル預入高三百圓ト拂戻高二百五十圓トヲ比較シ、又(2)ハ一月六日ニ於ケル預入高七百圓ト拂戻高七百二十圓トヲ比較シ、各其小ナルモノヲ取リタル也。又一月八日ニ於ケル取引ハ拂戻預入ニ先ツニヨリ、追加積數ヲ算セズ。

本法ノ理由トスル所ハ前法ニ同ジ、唯拂戻金

中其日ノ預金ヨリ拂出サル、部分ハ前ト異ナルニヨリ、追加積數ノ算法ヲ變ジタルノミ。

(五)ノ場合即一日ニ數回ノ拂戻及預入アル場合モ亦(四)ノ(甲)法ヲ採ルト(乙)法ヲ採ルトニヨリ之ヲ二分シ得ベシ。

(イ) (甲)法ヲ採用スルトキハ、其日ノ拂戻金合計額ヲ求メ、之ヲ前日繰越金ト比較シ、(四)ノ(甲)法ト同様ノ算法ヲ施スベシ。

(ロ) (乙)法ヲ採用スルトキハ、各拂戻毎ニ區切ヲナシ

計額一回ノ拂戻ト看做スベシ 各區ニ

於テ其預入高ト拂戻高トヲ比較シ、(1)預入高小ナル場合ニハ其金額ヲ以テ追加積數トナシ(2)預入高大ナル場合ニハ拂戻額ヲ以テ追加積數トナシ、預入高ト拂戻高トノ差額ハ之ヲ次區ニ繰越スベシ、而シテ次區ニ於テハ此繰越シタル金額ヲ預入金ニ合算シ其和ヲ以テ其拂戻高ニ比較シ前法ヲ繰返スベシ。次ニ其一例ヲ示スベシ。

第八例 小口當座預金利息算例。

利息計算法、前例ニ同シ

月 日	摘 要	借 方	貸 方	残 高	日 數	積 數
1 6	1.		5,000	5,000		
" "	2.	3,000		2,000		追 (1) 3,000
" "	3.		6,000	8,000		
" "	4.	3,500		4,500		
" "	5.	4,000		500		追 (2) 7,500
" "	6.		2,000	2,500	2	5,000
" "	7.	1,000		1,500		
" "	8.		3,000	4,500		追 (3) 3,000
" "	9.	4,000		500		
" "	10.		3,500	4,000		追 (4) 2,000
" "	11.	2,000		2,000		
" "	12.		1,500	3,500		追 (5) 2,500
" "	13.	2,500		1,000	2	2,000
		20,000	21,000		4	25,000
" 10		1,000		0		20,000
		21,000	21,000			5,000
" 11	繰 越		1,000			@ ¥ 01 = ¥ 050
" "	利 息			50		1,000 50

(解) 一月六日ノ取引ニ於テハ、取引2、5、ヲ以テ各一區トナシ、其第一區ニ於テハ預入高ト拂戻高トノ内小ナル金額三千圓ヲ以テ追(1)ヲ作り、其差高二千圓ヲ第二區ニ繰越ス、又第二區ニ於テハ其繰越サレタル金額ト預入金ノ合計ト拂戻金ノ合計トヲ比較シ、其小ナル金額七千五百圓ヲ以テ追(2)ヲ作ル。一月八日ノ取引ニ於テハ7、9、11、13ヲ以テ各一區トナシ、其第二區ニ於テハ預入高小ナルニヨリ、之ヨリ追(3)ヲ作り、第三區ニ於テハ拂戻高小ナルニヨリ、之ヨリ追(4)ヲ作り、其差額ヲ次區ニ繰越ス、第四區ニ於テハ其繰越シタル金額ヲ預金ト合算スルトキハ、拂戻高之ヨリ小ナルニヨリ、其拂戻高ヲ以テ追(5)ヲ作りタル也。

(附記) 本例チ(イ)ノ方法ニ從ヒテ計算スルトキハ左ノ如シ。

一月六日ノ追加積數 3,000 + 3,500 + 4,000(本日拂戻高)

— 0、前日繰越高) = 10,500

一月八日ノ追加積數 1,000 + 4,000 + 2,000 + 2,500(本日

拂戻高) — 2,500(前日繰越高) = 7,000

依テ積數ハ結局四千五百トナル、

以上述べル所ハ日數ガ片落シ計算法ナル預金利息ニ關スルモノナルモ、亦以テ其兩端入計算法ナルモノニモ適用シ得ベク、隨テ保管料、火災保險料等ニモ容易ク應用シ得ベキ也、勿論或

ル場合ニ於テハ之ニ應ズル特種ノ計算法ニシテ
本法ニ比シ大ニ簡便ナルモノアルベシト雖ドモ
本論ハ補正積數ハ夫レ等各種ノ場合ニ適用シ得
ベク、又其多クノ場合ニ於テ計算上多大ノ便宜
ヲ與フベキモノナルコトヲ示スヲ以テ満足スベ
シ。

終ニ一言スベキハ、日數ガ片落計算法以外ノ
算法ニヨルトキハ、尙其辨濟ノ順位ヲ確定スル
ニ非ザレバ利息ハ之ヲ計算シ能ハザルコトナリ
トス。